

白熱した好ゲームを展開

三郡隣接中学校バレー大会を開催



津山中のブロックが炸裂（津山中対大須中）

5月29日、津山町の若者総合体育館などを会場に、第30回三郡隣接中学校バレーボール大会（登米市・石巻市・東松島市・本吉郡）が開催されました。

大会には、男子8チーム、女子23チームが参加。各会場



女子の部で優勝した米山中

では、白熱した試合が繰り広げられ、会場に訪れた家族や学校関係者から、大きな歓声が上がっていました。試合は、男子が2年連続で津山中、女子は2年ぶりに米山中の市内2校が優勝しました。試合の結果は次のとおりです。

▼男子の部

優勝 津山中学校

準優勝 大須中学校（石巻）

第3位 志津川中学校

桃生中学校（石巻）

▼女子の部

優勝 米山中学校

準優勝 雄勝中学校（石巻）

第3位 東和中学校

津山中学校

きれいな水をくれる自然を守ろう

登米森林公園で植樹

6月2日、登米森林公園で植樹活動が行われました。

この植樹は水道週間にちなんだイベントで、植樹を通じて水の大切さ、北上川の水源の保全の在り方を学んでもらおうと、水道事業所が開催。6回目の今回は、登米中の3

年生50人が参加しました。登米町森林組合の佐藤課長

が「森林は、住宅の柱や紙の材料になるばかりではなく、

水を蓄える天然のダムや水を過する役割があります。また、地球温暖化の防止や土砂

災害の防止など、いろいろな役割を果たしています」と講話。その後、ヤマザクラとカツラの苗木100本を植樹しました。

参加した中学生たちは、この日植えた苗木が多くの年月を経て、大樹になって水を育むことを願っていました。

参加した中学生たちは、この日植えた苗木が多くの年月を経て、大樹になって水を育むことを願っていました。



大きくなるまで何年かかるかな

華麗な舞に思わずうっとり

舞踊フェスティバルを開催



華麗な舞が次々と披露されました

6月4日、「とめ舞踊フェスティバル2005」が登米祝祭劇場で催されました。この舞踊フェスティバルは、

登米市舞踊団体連絡協議会

（加盟団体市内40団体）と財団法人登米文化振興財団の共催で行われ、今年で9回目となります。

舞踊ショーでは、市内の舞踊団体が日ごろの練習の成果を発揮。「宮城長持唄」、「とよま恋の城下町」など62の踊りが披露されました。会場は立ち見が出るほどの盛況で、

観客は華麗な舞に大変満足した様子でした。

舞踊団体連絡協議会は、今回の入場料の一部となる10万円を登米文化振興財団へ寄贈しました。

舞踊団体連絡協議会は、今回の入場料の一部となる10万円を登米文化振興財団へ寄贈しました。

舞踊団体連絡協議会は、今回の入場料の一部となる10万円を登米文化振興財団へ寄贈しました。

舞踊団体連絡協議会は、今回の入場料の一部となる10万円を登米文化振興財団へ寄贈しました。

たくさんお米が取れるといいね

マリ共和国支援米の田植えを実施



田植えを通じて世代間交流をしました

5月28日、南方町大袋地区で、マリ共和国（西アフリカ）に送る支援米の田植えが実施されました。

田植えには、地域住民や南

方小の児童など約50人が参加。田植え初挑戦となる布施市長も、作業着、長靴姿で応援に駆け付けました。

市長は、以前にフィリピンの火山被災地やタイの貧困地区を訪れた経験から「わたしたちふるさとの豊かさにあらためて感謝し、平和の輪を広げていきたい」とあいさつ。参加した人たちは、泥まみれになりながら、たくさん米が取れるように一本一本丁寧に苗を植えていました。秋には稲刈り作業が実施され、収穫した米は支援米として送られます。



虫歯になりたくないね

親子で絵本の楽しさを実感

迫図書館でおはなし会を開催

6月4日、迫図書館でおはなし会が開催されました。この会は、図書館ボランティア団体「だっこ・ラッコの会」のメンバーが、幼児・児童に絵本の読み聞かせをするもので、今年で4年目になります。当日は、親子連れ約30人が参加。子どもたちは「虫歯くん大好き」など6種類の絵本を読んでもらい、楽しそうに聞いていました。

子どもたちには、絵本を聞いたごほうびに、さまざまなキャラクターシールがプレゼントされ、シールがたまると、手作りのオリジナル人形がもらえます。

おはなし会は、市内の子どもならどなたでも参加できます。お気軽にどうぞ。

【問い合わせ】迫図書館

0220(22)9820

非常事態！交通死亡事故多発

中田町で交通安全推進会議を開催



交通事故防止を強く決意するため、参加者全員で交通安全を誓いました

6月14日、中田農村環境改善センターで、中田地区交通安全推進会議が開催されました。今年に入り佐沼警察署管内で、交通死亡事故が4件発生

そのすべてが中田地区で発生していることから、緊急に対策を立てようと会議がもたれました。

会議には、中田地区の交通安全協会や指導隊、老人クラブ、地元企業などから約60人が出席。市長、佐沼警察署長のあいさつに続き、同署交通課長から市内の交通事故の現状が説明されました。

参加した関係者は、各団体ごとに交通安全の意識を高め、交通事故防止に全力を尽くすことを決議しました。

交通安全を常に心がけ、事故に遭わないよう、起こさないよう注意しましょう。



「相手に対する思いやりがあれば事故は起きない」と話す野村佐沼警察署長